



CLASSIC PRO
UPS

UPS1000PSII

UPS2000PSII

USER'S MANUAL
日本語版



株式会社 サウンドハウス

〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3

TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222

<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

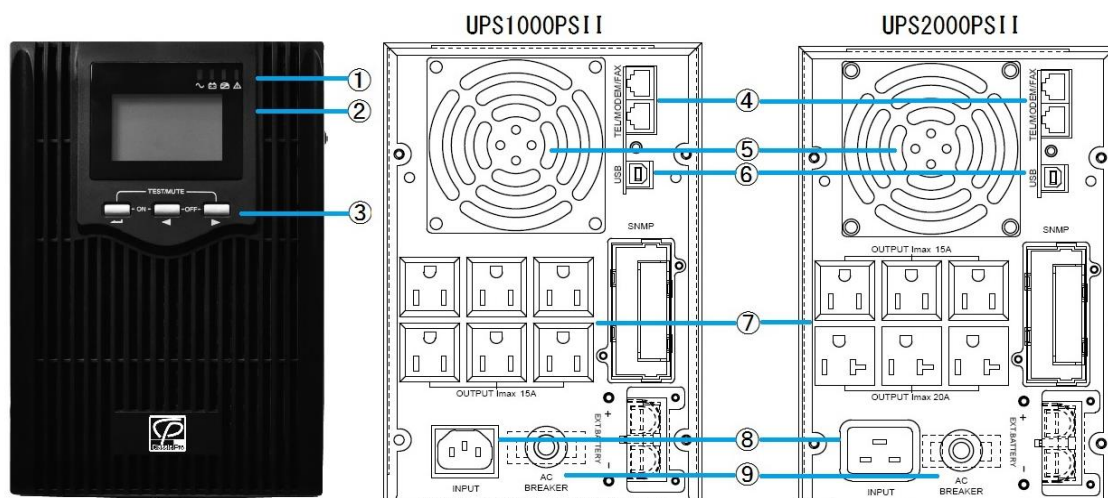
はじめに

この度は CLASSIC PRO UPS PSII シリーズをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
製品の性能を最大限に活用し末永くお使いいただく為、ご使用になる前に必ず本取扱
説明書をお読みください。

使用上の注意事項

- ご使用前に UPS の電源プラグをコンセントに 8 時間以上接続することにより、
バッテリーが充電されます。
- バッテリーの放電後、及び本製品を 3 ヶ月以上使用しなかった場合、ご使用前に
12 時間以上、充電をしてください。また、バッテリーが十分に充電されていることを
確認し、バッテリーにダメージを与えないようにしてください。
- 本製品は PC、PC 周辺機器専用です。
- 電気モーター、デイトランプ、及びレーザープリンターなどの大きな誘導性負荷、
容量性負荷を与える機器に使用しないでください。
- 生命維持装置などの用途には使用しないでください。
- CRT ディスプレイの近くに設置する際は、50 c m以上離してください。
- 本製品使用時に UPS 本体の表面温度が 50℃程度にまで達することがあります。
- 感電の恐れがあるため、本体のケースは絶対に開けないでください。
- 本体内部に液体、異物が入らないようご注意ください。
- 過度な負荷は本体のダメージにつながる恐れがありますので十分注意してください。
- 以下のような環境でのご使用は止めてください。
 - 引火性ガス、その他有害ガス及びほこりの多い場所
 - 温度 40℃以上、0 度以下、及び湿度 90%以上になる場所
 - 直射日光下、また電化製品の近く
 - 振動の激しい場所
 - 屋外

フロントパネル、リアパネル



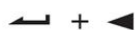
1. LED インジケーター
2. LCD ディスプレイ
3. 入力キー
4. TEL/FAX 保護用端子
5. 冷却ファン
6. USB 端子
7. 出力ソケット
8. 電源用ソケット
9. AC ブレーカー

設置と使用方法

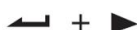
1. UPS を壁から 10cm 以上離し、水、可燃性ガスが周辺にない、風通しの良い場所に設置してください。
 2. 接続する機器の電源を OFF にし、UPS の出力ソケットに接続してください。
 3. UPS の電源プラグをコンセントに接続してください。
 4. 周辺温度は、0℃から 40℃の範囲内に維持してください。
 5. UPS はコンセントに接続すると自動的に充電を開始します。
- ※ 通常は UPS の電源を切らず、バッテリーを充電し続けてください。
- ※ UPS2000PSII の出力ソケットは、上段と下段で形状が異なります。いずれも平行電源プラグ（アース対応）を接続できます。

フロントパネルの機能とキー操作

キー機能



このキーを 3 秒以上、長押しすると、通常モードになります。



通常モード時に押すと、セルフテストを実行できます。

バッテリーモード時に押すと、アラーム音をミュートすることができます。



このキーを 3 秒以上、長押しすると、バイパスモードになります。



機能設定画面：パラメーター値を小さくします。

通常画面：表示される項目が順番に表示されます。(ページアップ)



機能設定画面：パラメーター値を大きくします。

通常画面：表示される項目が順番に表示されます。(ページダウン)

2 秒以上、長押しすると、表示される項目が自動的に切り替わります。

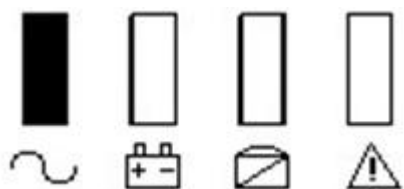
もう一度、2 秒以上、長押しすると自動表示切替が解除されます。



通常画面： 5 秒以上、長押しすると、機能設定画面に切り替わります。

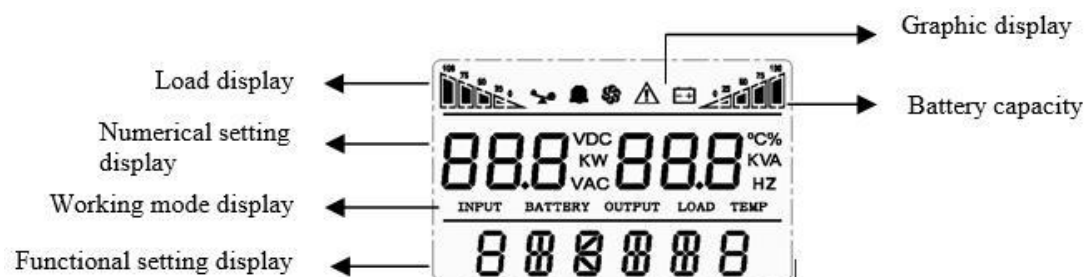
機能設定画面：設定項目が切り替わります。3 秒以上、長押しすると、設定内容を保存せず、機能設定画面を終了します。変更した内容を保存する時は、設定保存ページで YES を選択してこのボタンを押してください。

LED インジケータ



アイコン	名称	説明
	運転 LED (緑)	通常モード、またはバッテリーモードで電源供給時に点灯します。
	バッテリーLED (赤)	バッテリーモードで電源供給時に点灯します。
	バイパス LED (黄)	バイパスモードで電源供給時に点灯します。
	警告 LED (赤)	UPS 異常時に点滅します。 (例) バッテリー異常、主電源異常など

LCD ディスプレイ



アイコン	名称	説明
	負荷	UPS に過負荷がかかった時にアイコンが点滅
	アラーム	アラームが鳴っている時にアイコンが点滅
	ファン	ファン稼働時はアイコンが回転し、停止時は点灯
	警告	異常が発生し、アラームが鳴っている時に点滅
	バッテリー異常	バッテリーに異常が検知された時に点滅

操作モード	表示文字	説明
通常モード	LINE	レギュレーターから安定した電圧を供給します。 インバーターはバッテリーを充電します。
バッテリーモード	BATT	電源が停電などにより、異常を検知した場合、バッテリーモードに切り替わります。バッテリーから安定した電圧が供給されます。
バイパスモード	PWR DN	商用電源が正常な状態で UPS の電源を手動で OFF にした場合、入力電源がそのままバイパスされます。 レギュレーターは機能しないので入力電圧に従って出力電圧は変動します。
異常モード	FAULT	UPS が異常を検知した場合は、異常モードになり、エラー内容が表示されます。

注意:

- UPS の電源を入れてから、PC や他の機器の電源を入れます。
切る時は、PC や他の機器の電源を切ってから、UPS の電源を切ります。
- 商用電源の電圧が低下した場合、UPS はバッテリーからの電源供給に切り替わります。
ただちに PC のデータを保存して、他の機器の電源を切るようにしてください。
- 7 日間以上、UPS を使用しない場合、UPS の電源を切り、電源ケーブルをコンセントから外してください。
- 3 ヶ月以上、UPS が使用されなかった場合、12 時間以上充電をしてください。

スタートアップ、シャットダウン操作

スタートアップ

電源がある場合

- UPS の電源プラグをコンセントに接続すると、バイパス LED が点灯し、自動的にセルフテストを開始します。セルフテスト終了後、バイパス LED が消え、UPS が作動していることを表す運転 LED が点灯します。

電源がない場合

- ◀ + ▶ を 3 秒以上、長押しすると、インバーターが起動し、電源供給を開始します。運転 LED、バッテリーLED が点灯、警告 LED が点滅します。

シャットダウン

電源がある場合

- ◀ + ▶ を 3 秒以上、長押しすると、バイパスモードになり、バイパス LED が点灯します。UPS の電源プラグをコンセントから抜くとシャットダウンすることができます。

電源がない場合

- ◀ + ▶ を 3 秒以上、長押しすると、シャットダウンすることができます。

パネル設定画面

出力電圧設定



- ◀ を 5 秒以上、長押しをして、設定画面にしてください。
- ◀ を押して、出力電圧設定の画面にしてください。
- ◀、▶ を押して 100V、110V、115V、120V から選択してください。

デフォルトは 100V です。

発電機接続設定



PSII シリーズでは使用しない項目となります。

デフォルトは 150%です。

出力周波数設定



1.  を 5 秒以上、長押しをして、設定画面にしてください。
2.  を押して、出力周波数設定の画面にしてください。
3.  を押して 50Hz、または 60Hz を選択してください。

コールドスタート時の周波数を選択することができます。

※通常モード時は、自動検知された周波数で出力します。

入力周波数範囲設定



1.  を 5 秒以上、長押しをして、設定画面にしてください。
2.  を押して、入力周波数範囲設定の画面にしてください。
3.  を押して ±5%～±15% から選択してください。

デフォルトは ±5% です。

急速充電電圧設定



1.  を 5 秒以上、長押しをして、設定画面にしてください。
2.  を押して、急速充電電圧設定の画面にしてください。
3.  を押して 13.6V～15.0V から選択してください。

デフォルトは 14.1V です。

トリクル充電電圧設定



1.  を 5 秒以上、長押しをして、設定画面にしてください。
2.  を押して、トリクル充電電圧設定の画面にしてください。
3.  を押して 13.2V～14.6V から選択してください。

デフォルトは 13.5V です。

バッテリー低電圧アラーム設定



1.  を 5 秒以上、長押しをして、設定画面にしてください。
2.  を押して、バッテリー低電圧アラーム設定の画面にしてください。
3.  を押して 9.6V～13.0V から選択してください。

デフォルトは 10.8V です。

バッテリー放電電圧検知設定



1.  を 5 秒以上、長押しをして、設定画面にしてください。
2.  を押して、バッテリー放電電圧検知設定の画面にしてください。
3.  を押して 9.6V～11.5V から選択してください。

デフォルトは 10.2V です。

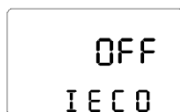
充電電流設定



1.  を 5 秒以上、長押しをして、設定画面にしてください。
2.  を押して、充電電流設定の画面にしてください。
3.  を押して 1A～5A から選択してください。

デフォルトは 1A です。5A ではバッテリーにダメージを与えることがあるため、本製品は 1A でご使用ください。

省エネモード設定

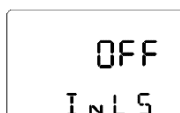


1.  を 5 秒以上、長押しをして、設定画面にしてください。
2.  を押して、省エネモード設定の画面にしてください。
3.  を押して ON、または OFF を選択してください。

ON に設定すると、負荷合計が 3 %以下の時、スリープモードになり、消費電力の 90%を削減します。負荷が 3%以上になると、自動的にスリープを解除します。省エネモードと無負荷時自動シャットダウン機能が同時に設定されている場合は、省エネモードが動作します。

デフォルトは OFF です。

無負荷時自動シャットダウン設定

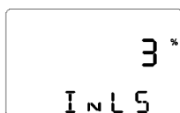


1.  を 5 秒以上、長押しをして、設定画面にしてください。
2.  を押して、無負荷時自動シャットダウン設定の画面にしてください。
3.  を押して ON、または OFF を選択してください。

ON に設定すると、バッテリーモード時に、負荷割合が設定値を下回った場合、設定した時間の経過後にシャットダウンします。負荷比率は実際に使用する負荷に合わせて設定されます。

デフォルトは OFF です。

無負荷時自動シャットダウン（負荷割合）

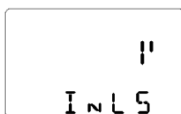


1.  を 5 秒以上、長押しをして、設定画面にしてください。
2.  を押して、無負荷時自動シャットダウン設定（負荷割合）の画面にしてください。
3.  を押して 3%~50%から選択してください。

バッテリーモード時、負荷割合（%）が設定値より低い場合、設定した時間後にシャットダウンをします。

デフォルトは 3%です。

無負荷時自動シャットダウン（時間）

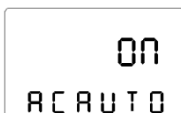


1.  を 5 秒以上、長押しをして、設定画面にしてください。
2.  を押して、無負荷時自動シャットダウン設定（時間）の画面にしてください。
3.  を押して 1 分～99 分から選択してください。

バッテリーモード時、負荷割合（%）が設定値より低い場合、設定した時間後にシャットダウンをします。

デフォルトは 1 分です。

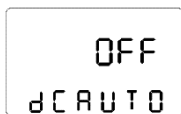
AC 自動スタート設定



1.  を 5 秒以上、長押しをして、設定画面にしてください。
2.  を押して、AC 自動スタートの画面にしてください。
3.  を押して ON、または OFF を選択してください。

デフォルトは OFF です。ON の場合、UPS が OFF の状態で電源プラグをコンセントに接続すると、バイパスモードから自動的に通常モードに切り替わります。OFF の場合、UPS が過放電になり、シャットダウンした後、復帰してもバイパスモードから自動で通常モードにはなりません。

DC 自動スタート設定



PSII シリーズでは使用しない項目となります。

デフォルトは OFF です。

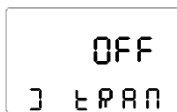
DC 自動再スタート待ち時間設定



PSII シリーズでは使用しない項目となります。

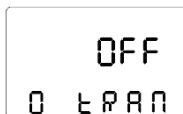
デフォルトは 0.5H です。

入力電圧表示設定



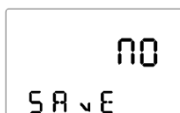
PSII シリーズでは使用しない項目となります。
デフォルトは OFF です。

出力電圧表示設定



PSII シリーズでは使用しない項目となります。
デフォルトは OFF です。

設定の保存と終了

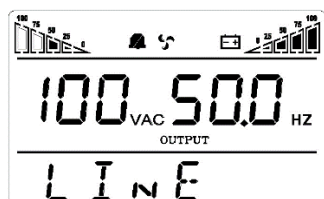


1.  を 5 秒以上、長押しをして、設定画面にしてください。
2.  を押して、設定保存の画面にしてください。
3.  を押して YES、または NO を選択してください。
4. YES が表示された状態で  を押すと、変更した内容が保存され、機能設定画面が終了します。
5. UPS の電源を OFF にし、再起動すると保存された内容が反映されます。
6. 機能設定画面で  を 5 秒以上、長押しをすると設定を保存せずに終了します。

各パラメーター画面

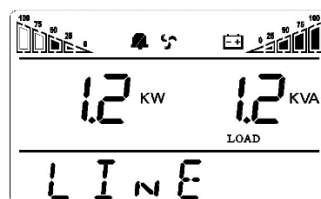
通常画面で、▶を 2 秒以上、長押しすると、表示される項目が自動的に切り替わります。もう一度、2 秒以上、長押しすると自動表示切替が解除されます。

出力電圧



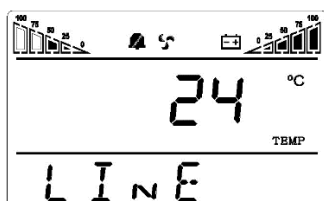
出力電圧: 100V、出力周波数: 50Hz

負荷



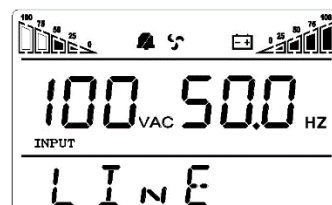
負荷: 1.2kW、1.2kVA

温度



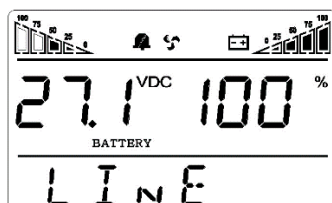
温度: 24℃

入力電圧



入力電圧: 100V、出力周波数: 50Hz

バッテリー



バッテリー電圧: 27.1V、バッテリー容量: 100%

メンテナンス

1. UPS バッテリー

無停電電源装置（UPS）のバッテリーは、密封鉛蓄電池を使用しています。

このバッテリーは使用環境や放電の頻度により、使用寿命が変化します。その定格寿命は理想的な環境下において管理された場合、通常約 1～2 年（使用温度 25℃でおよそ2 年、35℃ではおよそ1 年です）となります。温度変化や頻繁に放電した場合など、様々な使用環境に応じて、バッテリーの寿命は早期に消耗劣化する場合があります。定期的にバックアップタイムを確認した上で、およそ 1 年ごとにバッテリーを交換することをお勧めいたします。

2. バッテリー寿命の延命策

バッテリーの寿命を最大限に延命する方法として、以下をお勧めします。

- ・ 本機の定格容量に近くなるまで接続機器を増やさず、5 割から8 割程度を目安に接続してください。停電の際に負荷が一度にかかると、バッテリーの寿命が短くなります。
- ・ レーザープリンター等、大容量の電流を使用する機材を接続しないでください。
- ・ UPSは、できるだけ通気がよく、涼しい場所に設置してください。
- ・ バックアップタイム（ランタイム）を測るためにUPS を放電すると、バッテリーの寿命が短くなることがあるため、測定回数は1 年に1～2度程度までを目安に考えてください。

3. バックアップタイムの測定

バッテリーの寿命は、使用しない場合でも短くなります。定期的なチェック（コンセントから電源プラグを抜いて時間を測定）を行っていただき、満充電状態からのバックアップタイムが短くなってきた場合は、早急にバッテリー交換をしてください。

4. バッテリーの保管期間

新しいバッテリーの保管期間は、およそ半年を目安に考えてください。バッテリーは時間が経つにつれて充電容量が失われ、使用できなくなります。

5. バッテリーの破棄方法

使用済のバッテリーにつきましては、地域の条例に従って破棄するか、最寄りの代理店までお問い合わせください

エラーメッセージとトラブルシューティング

ご使用の際、何らかの異常が発生した場合は、以下の通りに処置してください。

UPS と接続した機器の破損、データ消失などは、保証対象外となります。

No.	LCD 表示	エラー内容	対応
1	SHORT	機器がショート	機器がショートしていないか確認してください。
2	OUT H	出力電圧が高い	インバーター異常です。 弊社サポートへお問い合わせください。
3	OUT L	出力電圧が低い	インバーター異常です。 弊社サポートへお問い合わせください。
4	LOAD	出力過負荷	接続している機器の電源を切るか負荷を下げてください。
5	RELAY	入力リレー異常	インバーター異常です。 弊社サポートへお問い合わせください。
6	MOSC	MOS FET の過電流	接続機器による過負荷、またはショートしていないか確認してください。問題が解決しない場合は、弊社サポートへお問い合わせください。
7	MOST	MOS FET の異常過熱	接続機器の負荷を減らしてください。問題が解決しない場合は、弊社サポートへお問い合わせください。
8	SENSOR	MOS FET 温度検知端子接続が切れている。	インバーター異常です。 弊社サポートへお問い合わせください。
9	TRANT	トランス異常過熱	接続機器の負荷を減らしてください。問題が解決しない場合は、弊社サポートへお問い合わせください。
10	INV H	インバーター電圧が高い	インバーター異常です。 弊社サポートへお問い合わせください。

11	INV L	インバーター 電圧が低い	インバーター異常です。 弊社サポートへお問い合わせください。
12	SOFT	インバーター ソフトスタート 異常	トランスとパワーボードの接続確認が必要です。 弊社サポートへお問い合わせください。
13	BUS H	BUS 高電圧	インバーター異常です。 弊社サポートへお問い合わせください。
14	CHARGE	充電電流異常	インバーター異常です。 弊社サポートへお問い合わせください。
15	BATH	バッテリー電圧 が高すぎる	弊社サポートへお問い合わせください。
16	EOD	バッテリー電圧 が低すぎる	バッテリーが完全に放電しているか異常がある状態です。商用電源異常時、バッテリーモードで動作し、放電電圧到達後、UPS の電源が落ちます。商用電源正常時、自動的に充電を行います。バックアップタイムが短い場合は、新しいバッテリーに交換してください。 問題が解決しない場合は、弊社サポートへお問い合わせください。

問題	対応
商用電源は正常にもかかわらず、UPS の電源が入らない。	電源ケーブルを確認してください。 AC ブレーカーが動作していないか確認してください。
商用電源は正常にもかかわらず、UPS が正常に立ち上がらない。 警告 LED: 点灯、警告アイコン: 点灯。LCD ディスプレイが点灯しない。	バッテリー接続ケーブルが接続されているかどうか確認してください。 バッテリーに異常がないか確認してください。
通常モード時に、ブザーが鳴り、負荷アイコンが点滅、少し経ってから UPS がバイパスモードになる。 バッテリーモード時に、ブザーが鳴り、負荷アイコンが点滅、少し経ってから自動的にシャットダウンする。	出力が過負荷になっています。 LCD ディスプレイで負荷の状態を確認してください。 過負荷の場合は、機器の負荷を減らしてください。
 +  ボタンを押しても UPS の電源が入らない。	ON ボタンは、3 秒以上、押してください。 バッテリーが接続されているか確認してください。 問題が無い場合、UPS 内部に異常があります。 弊社サポートへ お問い合わせください。
バッテリーの放電時間が短い。	バッテリーが十分に充電されていません。UPS の電源プラグをコンセントに接続し、最低 8 時間以上充電してからお使いください。 接続している機器の負荷が重すぎるため、負荷を減らしてください。 バッテリーが消耗しています。バッテリーを交換してください。

スペック一覧

モデル名		UPS1000PSII	UPS2000PSII
DC 入力	定格電圧	24V	36V
	DC 入力レンジ	20-30V	30-45V
AC 入力	バイパスモード 上限を超えると出力電圧は 0V になります。	0-121V (100V)	
		0-132V (110V)	
		0-138V (115V)	
		0-144V (120V)	
	通常モード 範囲を超えると、バッテリーモードに切り替わります。	70-130V (100V)	
		80-140V (110V)	
		85-145V (115V)	
		90-150V (120V)	
	周波数レンジ	50Hz/60Hz (自動検知) ±5%～±15%、デフォルト値: ±5%	
AC 出力	バッテリーモード	100/110/115/120V±5%	
	バイパスモード	0-121V (100V)	
		0-132V (110V)	
		0-138V (115V)	
		0-144V (120V)	
	通常モード	90-110V (100V)	
		99-121V (110V)	
		103-126V (115V)	
		108-132V (120V)	
	周波数レンジ	50Hz/60Hz±0.3Hz	
	波形	正弦波	
	容量	1000VA	2000VA
	許容電力	800W	1600W
	力率	0.8	
	インバーター出力効率	最大 80%	最大 85%
	転送時間	≤10m 秒	
	保護	過負荷、ショートサーキット バッテリー低電圧、バッテリー 過充電、過熱保護	

	オーバーロード時にバイパスモードになるまでの時間 (通常モード)	110% 120 秒、125% 60 秒 150% 10 秒	
	オーバーロード時にシャットダウンするまでの時間 (バッテリーモード)	105% 300 秒、110% 60 秒 125% 10 秒、150% 0.7 秒	
	アラーム	60 秒後、自動停止 またはマニュアル停止	
バッテリー	容量	12V/7AH×2	12V/9AH×3
	充電電流	1-5A、デフォルト値: 1A	
	急速充電電圧	13.6-15.0V、デフォルト値: 14.1V	
	トリクル充電電圧	13.2-14.6V、デフォルト値: 13.5V	
	低電圧アラームポイント	9.6-13.0V、デフォルト値: 10.8V	
	低電圧シャットダウンポイント	9.6-11.5V、デフォルト値: 10.2V	
アラーム	ON/OFF	0.5 秒間	
	バッテリー低電圧	0.16 秒間、0.16 秒間隔	
	オーバーロード	2 秒、0.5 秒間隔	
	電源異常	0.32 秒、0.5 秒間隔	
その他	インターフェース	LCD&ブザー	
	動作温度	5-40℃	
	動作湿度	≤93%	
	冷却	ファン	
	寸法 (W×H×D mm)	144×215×345	144×215×410
	重量	12.2kg	18.5kg

付属品

UPS 本体 1

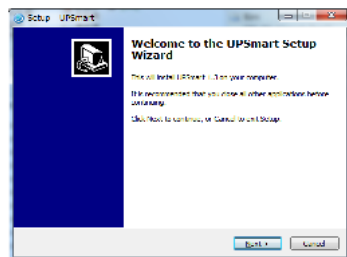
マニュアル 1

電源ケーブル 1

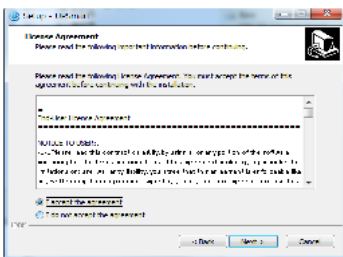
USB ケーブル 1

電源管理用ソフトウェア CD-ROM 1

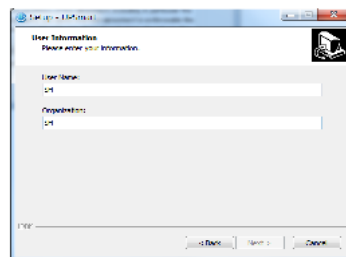
UPSmart インストール方法



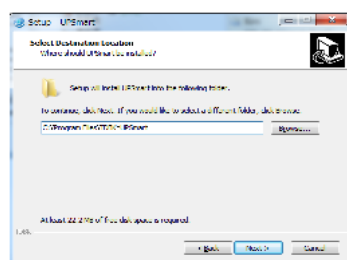
1. セットアップ画面が表示されたら「Next」をクリック



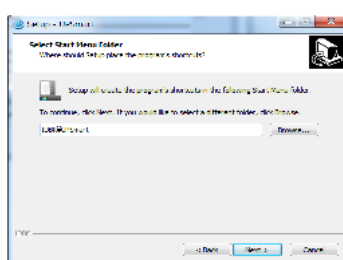
2. 使用許諾契約を読み、「I accept the agreement」にチェックを入れ、「Next」をクリック



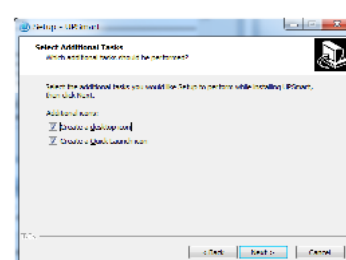
3. ユーザー情報：名前、会社名を入力し、「Next」をクリック



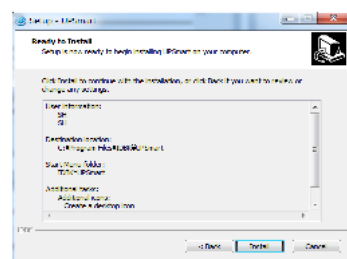
4. インストール先に変更がなければ「Next」をクリック



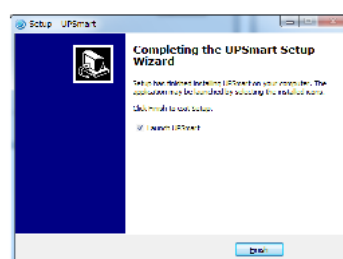
5. スタートメニューフォルダにショートカットを作成：変更がなければ「Next」をクリック



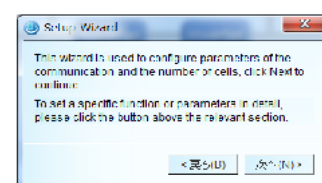
6. 追加アイコンを作成：変更がなければ「Next」をクリック



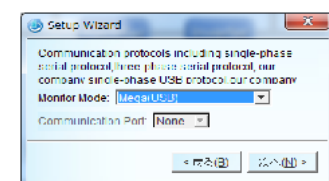
7. 内容の確認をし、変更がなければ「Next」をクリックするとインストールが開始されます



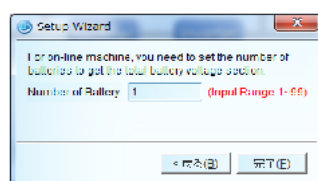
8. インストール完了です



9. 初期設定：「次へ」をクリック



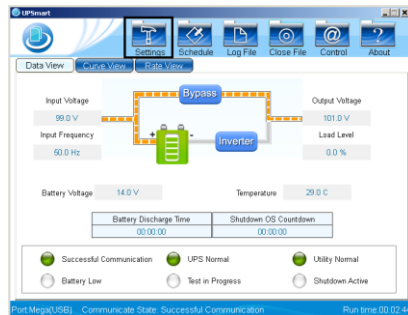
10. Monitor Mode :
LXシリーズ :
 Mega(USB)
PSIIシリーズ :
 Single-Phase UPS(USB)
UPS1000RT :
 Mega(USB)、または Single-Phase UPS(USB)
を選択し、「次へ」をクリック



11. バッテリーの数：モデルに合わせて入力し、完了をクリック

UPSmart 自動シャットダウン設定方法

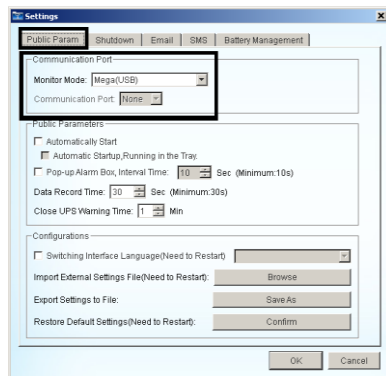
1. UPSmart を起動し、ウィンドウが表示されました「Settings」を押してください。



2. 「Public Param」→「Communication Port」

LX シリーズ: Mega (USB)、PSII シリーズ: Single-phase UPS (USB)

UPS1000RT: Mega (USB)、または Single-phase UPS (USB) を選択して OK を押してください。



3. シャットダウン時間の設定

「Shutdown」→「Shutdown Parameters」

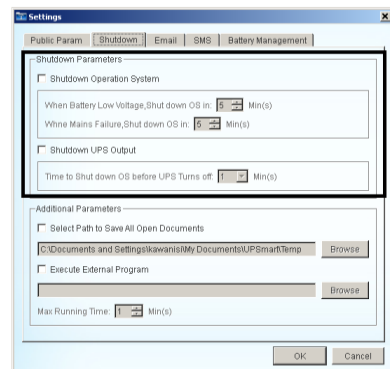
Shutdown Operation System: チェックを入れることで自動シャットダウンが有効

Battery Low Time: バッテリー電圧低下時、シャットダウンを開始するまでの時間 (分)

Utility Fail Time: 停電時、シャットダウンを開始するまでの時間 (分)

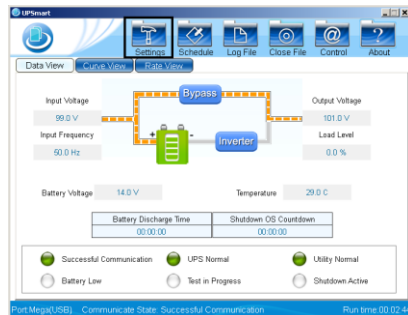
Shutdown UPS Output: チェックを入れることで自動シャットダウン後、UPS の出力停止が有効

Shutdown UPS Delay Time: 自動シャットダウン開始から、UPS 停止までの時間

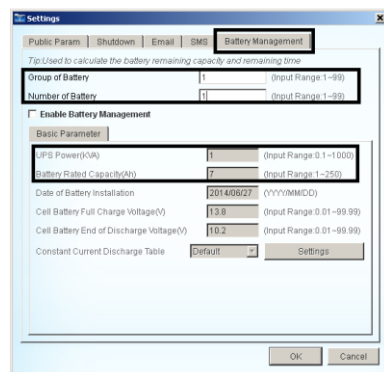


UPSmart バッテリー設定方法

1. UPSmart を起動し、ウィンドウが表示されましたら「Settings」を押してください。



2. 「Battery Management」を押してください。



3. 各項目の設定

「Group of Battery」：1 全モデル共通です。

「Number of Battery」：バッテリーの数

モデルに合わせて入力してください。例：UPS500LX→1、UPS2000PS→3

「UPS Power (kVA)」：UPS の容量

モデルに合わせて入力してください。例：UPS500LX→0.5、UPS2000PS→2.0

「Battery Rated Capacity (Ah)」：バッテリー1個あたりの容量

モデルに合わせて入力してください。例：UPS500LX→7、UPS2000PS→8

※ソフト上に表示されるバッテリーの残り時間や容量等の数値は多少の誤差が発生する可能性があります。あくまでも目安としてご利用ください。

保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理致します。

お買い上げ日より1年間有効

■保証規定

保証期間内において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書きに基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。保証期間は通常ご購入日より1年ですが、商品によって異なる場合があります。但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取り扱い方法が不適当（例：ボイスコイル焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. お客様自身が行った調整や修理作業が原因となる故障および損傷。もしくは、製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことによる故障及び損傷とみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動等）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト、各種パーツ、ギター弦等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. その他、メーカーや代理店の判断により保証外とみなされた場合

●運送費用

通常、修理品の発送や持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、弊社指定の運送会社に限り着払いにて受け付けます。その際、下記RA番号が必要となります。沖縄などの離島の場合、着払いでの受付は行っておりませんので、送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号（返品承認番号）

サウンドハウス宛に商品を送る際は、いかなる場合でもサポート担当より通知されるRA番号を必要とします。また、初期不良または保証期間内の修理における着払いでの運送についても、RA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状に明記してください。RA番号が無いものについては、着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみに有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損失等の損害に関して、サウンドハウスは一切の責任を負いません。加えて、交換や修理等には当初の予定よりも時間を要することがありますが、遅延に関連する損害についても一切の責任を負いません。また、原則として代替機は、ご用意しておりませんのであらかじめご了承ください。